

鈴鹿市生成 AI 教育利活用ガイドライン(児童生徒)

このガイドラインは、みなさんの学びを助けてくれる新しいパートナー「生成 AI(せいせいエーアイ)」を正しく使うために知ってほしいポイント等をまとめたものです。

生成 AI(Gemini)ってなに？

インターネットのたくさんの情報を学習して、人間のように言葉を返してくれるツールです。鈴鹿市の学校で使う「Gemini(ジェミニ)」は、みんなが入力した内容が外にもれないように守られている安全な生成 AI です。

<生成 AI の「効果的な使い方」>

生成 AI は、あなたの「もっと知りたい」「もっと考えたい」を助けてくれます。

(1) アイデアを聞く

- ・「『運動会』『友情』『元気』『みんなで』このキーワードの中からいくつか使って運動会のテーマ案を10通り考えて」
- ・「『友情』をテーマにした作文のアイデアをください」

(2) わからないことを聞く

- ・「『持続可能』ってどういう意味？小学生5年生にもわかるように説明して」
- ・「”I playing soccer in the park now.”これって間違いなの？何がいけないか解説して」

(3) お手伝いをしてもらう

- ・「つぎの文章に間違いがないかチェックして」
- ・「鎌倉時代と江戸時代の共通点、相違点を教えて」

<みんなで守ってほしいルール>

(1) 自分の名前や個人情報絶対に入力しない!

- ・自分や友だちの名前、学校名、住所、電話番号、写真は秘密の情報です。

(2) 生成 AI の答えを「うのみ」にしない!

- ・生成 AI は間違えることがあります。先生や家族、教科書、本や図鑑で「本当かな？」と確かめるくせをつけましょう。

(3) 宿題やレポートに答えを丸写ししない!

- ・生成 AI に考えてもらうのではなく、自分の頭で考えることが一番大切です。アイデアをもらうのは OK、でも最後は自分で考え、自分の言葉で書きましょう。

(4) 著作権(他の人の作品)を大切にしよう!

- ・授業の中で、生成 AI と一緒に作った文章や画像を使うことは認められていますが、誰かの作品とそっくりになってしまうことがあります。それを学校のウェブサイトに乗せたり、コンクールに応募したりするのは、相手の権利を傷つける(著作権しんがい)ことになることがあります。

(5) 「変だな」「怖いな」と思ったらすぐに大人に相談する!

・変な言葉や画像が出たら、すぐに画面を閉じて、先生や家族に教えてください。

(6) 生成 AI はあくまで学習のパートナーです!

・授業や家庭でクロームブック内の生成 AI を使う時は、学習に関係のないことには使いません。

(7) 不適切な使用はしません!

・人を傷つける文章、本物そっくりの偽画像、危険物の作り方など、犯罪やいじめにつながる利用は絶対に行いません。

・生成 AI の安全ルールを守り、自分や誰かの権利を侵害しないよう、マナーと責任を持って正しく使いましょう。

生成 AI を使う時の「安心・安全チェックリスト」

生成 AI を正しく使っているか、一つずつチェックしてみよう！

1. ひみつを守る (個人情報)

自分や友だちの名前、顔写真を入力していないかな？

2. 本当かな？と疑う (情報のたしかめ)

生成 AI が出した答えは、教科書や図鑑、先生の話と照らし合わせて「本当かな？」と確かめたかな？

3. 自分の力で考える (学習のルール)

生成 AI の出した答えを、そのまま「丸写し」せず、自分の考えや言葉でまとめ直しているかな？

4. 作品を大切にする (著作権)

生成 AI で作ったものを、勝手にコンクールに出したり、ネットに載せたりしようとしていないかな？

5. 困ったら相談 (安全な利用)

変な言葉や怖い画像が出たとき、すぐに画面を閉じて大人に言えるかな？

6. 思いやりを持つ (マナーと責任)

授業に関係あることで使っているかな？
 誰かを傷つけたり、困らせたりするような使い方はしていないかな？